

2013 年度事業報告書

I 事業概要

当協会は、滋賀県における国際交流活動を推進する中核的な団体として幅広い国際交流事業を展開しており、2013 年度は、より身近に県民に国際交流を感じてもらうため、びわこホールが開催する“ラ・フォル・ジュルネ”のキッズプログラムや、県の事業に参画して子ども向け体験プログラム「裾野を広げる国際交流～異文化体験～」、「世界を体験しよう！」などの事業を行った。

また、外国にルーツを持つ青少年の進路選択の一助となるよう昨年度から取り組んでいる「キャリアデザイン研修」では、「職業人と語る会」を開催し、16 職種の各方面で活躍しているゲストから直接お話を聞く機会を設けた。その他、地域における外国人住民に対し多岐にわたる支援に努め、行政、民間団体、NPO 間の連携を促進し、外国人住民が地域の一員として生活しやすい共生社会づくりに取り組み、外国人住民が安心して滋賀県で暮らせるように努めた。

そして、学校教育や社会教育で行われる国際教育を推進するため、国際教育に関する実践例や教材等の情報提供に努めるとともに、海外経験を持つ方向けの伝え方講座を開催するなど、人材の育成に取り組んだ。

II 事業実績

[自主] : 自主事業、[助成] : 助成事業、[補助] : 補助事業、[委託] : 委託事業

《 国際感覚に優れたひとづくり 》

1 国際教育啓発事業

(1) 国際教育・開発教育の普及 (オリジナル開発教育教材の普及) [自主]

① オリジナル開発教材

独自に開発した国際教育教材の普及を図るため、ワークショップの開催や講師派遣による実演教材の貸出、販売等を行った。

- 「ブラジルボックス」

貸出件数 :	42 件
うち、講師派遣数 :	11 件
- 「非識字体験ゲーム」

貸出件数 :	2 件
販売数 :	28 セット
- 「言葉がわからない」体験ゲーム震災編

貸出件数 :	2 件
販売数 :	30 セット

●オリジナル教材によるワークショップの実践

◇(特活) 開発教育協会主催 教材体験 FESTA 2014

開催日 : 3月29日(土)、30日(日)

場 所 : JICA 横浜

内 容 : 2分科会で教材の活用例紹介

「わたしん家の食事から カードゲーム版」

「言葉がわからない体験ゲーム 『何が起こった? (震災編)』

② 国際教育教材体験フェアの開催（共催：JICA 関西）

○国際教育教材体験フェア in 滋賀

開催日：5月11日（土）

会場：ピアザ淡海（大津市）

参加者：60人

③ 国際教育教材の貸出（オリジナル教材除く）

・所蔵数：576冊／点

・貸出件数 54件、貸出点数 延べ161点（オリジナル教材を除く）

(2) 国際教育の研究 [自主]

① 国際教育研究会「**Glocal net Shiga**」による教材開発検討会等の開催

研究会開催回数：11回、参加者：延べ86人（開催日：参加者）

（4/21：8人、5/11：13人、6/29：7人、7/21：11人、9/21：4人、10/26：6人、11/24：6人、12/7：7人、1/25：12人、2/16：6人、3/9：6人）

② オリジナル教材改訂のための研究

2006年に発行したオリジナル教材「カルタ わたしん家の食事から」に完売後も問い合わせが多数あるため、例会において、改訂版発行に向けた研究に取り組んだ。

(3) 国際教育の担い手の育成 [自主]

① ファシリテーター養成講座の開催（共催：JICA 関西）

○国際教育ワークショップ

「地球市民を地域とともに育てよう Part 12 英語教育で国際理解・開発教育をもっと身近に ～子どもの好奇心と行動力を引き出すテーマ別英語学習の提案～」

講師：町田 淳子さん

小学校テーマ別英語教育研究会（ESTEEM）代表

BeLL works (for Better Language Learning and to Be Lifelong Learners) 主宰

開催日：1月11日（土）

会場：ピアザ淡海（大津市）

参加者：28人

② 海外経験を持つ方対象の伝え方講座の開催（共催：JICA 関西）

○「参加体験型（ワークショップ）をつかった伝え方講座

講師：津田 かおりさん

青年海外協力隊 OG（マラウイ 地質調査）

開催日：11月9日（土）

会場：ピアザ淡海（大津）

参加者：22人

③ 国際教育の相談対応・出張講座のコーディネート

ア. 国際教育講師紹介、教材・授業案に関する相談対応：92件

イ. 講師派遣研修：43件

ウ. 講師（国際協会職員）派遣、訪問研修受入

・ 4/10・17	滋賀大学教育学部 「国際理解教育論」	参加者 延べ	49人
・ 8/6	10年経験者選択研修 「教室で“体験”できる国際理解教育ワークショップ」	参加者 延べ	16人
・ 8/22	滋賀県人権教育課 「人権教育リーダー養成講座」	参加者	130人
・ 8/23	石山高校人権委員研修 「多文化共生」	来所者	20人
・ 10/5	湖南省教育委員会 「こなんっ子防災キャンプ」	参加者	90人
・ 10/11	大津市立仰木中学校 「国際理解・人権学習」	参加者 延べ	66人
・ 10/23	国際情報高校1年生人権学習 「多文化共生」	参加者	242人
・ 11/5	大津高校 教員対象人権研修 「多文化共生」	参加者	29人
・ 11/22	甲賀市小・中学校国際理解教育部会研修	来所者	20人
・ 11/25	大津市立日吉中学校 「生き方講話」	来所者	33人
・ 11/29	竜王町小・中学校国際理解教育部会研修	参加者	10人
・ 1/28	彦根市立稲枝中学校 県内調査学習受け入れ	来所者	11人
・ 2/14	守山市立吉身小学校 「世界がもし100人の村だったら」	参加者 延べ	120人
・ 2/20	甲賀市立油日小学校 「国際交流活動」	参加者 延べ	73人
・ 3/29・30	開発教育協会 教材体験 FESTA（再掲）	参加者 延べ	60人

エ. 国際教育協働推進事業報告書の発行（3月）

オ. アドバイス等

- ・ 「開発教育協会関西ブロック運営委員会」委員

（主催：（特活）開発教育協会）

- ・ 「開発教育自己評価・ふりかえり指標研究会」メンバー

（主催：（特活）開発教育協会）

○ 県教育委員会主催「学校支援メニュー」ブース出展（8月9日）

④ 「国際教育」に関する教員研修への参画

滋賀県総合教育センターより依頼の研修の開催

◇環境学習講座「世界環境問題と私たちとのつながりを、教室で“体験”できるワークショップ！」

講 師：国際教育研究会メンバー 1人
会 場：滋賀県総合教育センター（野洲市）
開催日：7月29日（月）
参加者：12人

◇10年経験者選択研修「国際理解教育」

講 師：国際教育研究会メンバー 3人
会 場：ピアザ淡海（大津市）
開催日：8月6日（火）
参加者：16人

2 国際交流推進事業

(1) 裾野を広げる国際交流～身近な異文化体験～ 【自主】

①子ども多文化体験プログラム

開催日：4月28日（日）
会 場：ピアザ淡海3階 大会議室（大津市）

◇「ペルー民族舞踊“マリネラダンス”体験」

講 師：二階堂ルベンさん、大河ジャックリネさん他
参加者：親子190人

◇「ホセさんの創作絵本お話し会（スペイン語／日本語）＆お絵かき体験」

講 師：ホセ デ ラ コリーナさん
参加者：親子102人（第1回～第3回合計人数）

*びわ湖ホール“ラ・フォル・ジュルネ2013 びわ湖「キッズプログラム」と連携

②ぐるーかる・カフェ

◇世界を体験しよう！「ぐるーかる・カフェ（タイ、タンザニア）」

開催日：7月31日（水）
会 場：ピアザ淡海2階 国際情報サロン
講 師：タイ編 タッサニーヤ サエリーさん
 タンザニア編 オマリ アブダラ ムワンドゥアラさん
参加者：親子130名（実施プログラム4回合計）
その他：世界の民族衣装体験開催（JICA滋賀デスク連携）
*「しが☆まなび☆発見！」との連携

③外国人アーティスト絵画展 in ピアザ淡海

県内に住む外国人アーティストによる絵画展をピアザ淡海ロビーにて開催

◇ホセ デ ラ コリーナ絵画展「ファンタジーワールド～空想動物の世界へ～」

画 家：ホセ デ ラ コリーナさん（ペルー出身 物語作家／画家）
期 間：7月28日（日）～8月18日（日）
作 品：空想の動物たちの絵画（アクリル、水彩画）15点

◇麦 耀明 墨彩画展「～滋賀を旅する～」

画 家：麦 耀明さん（中国出身 水墨画・日本画家）

日 時：10月30日（水）～11月14日（木）

作 品：墨彩画（滋賀県の風景など）など10点。

その他：水墨画ライブ・ペインティング開催

11月10日（日）12:15～13:00

◇「アフリカンアート～オマリの描く野生動物の世界～」

画 家：オマリ アブダラ ムワンドゥアラさん

（タンザニア出身 ティンガティンガ画家）

日 時：2月24日（日）～3月9日（日）

作 品：アフリカンアート（ティンガティンガ）約15点

その他：ティンガティンガ・ライブ・ペインティングを開催

3月2日（日）10:00～12:00、13:00～16:00

3月9日（日）10:00～12:00、13:00～16:00

(2) ミシガン州立大学連合日本センター（JCMU）の管理運営 [委託][自主]

①施設の維持管理

JCMUの各種プログラムの受講者や教職員のニーズを把握し、快適な環境でセンターを利用できるよう施設の維持管理を適切に行った。

②プログラムの運営支援

センターが開催する英語プログラムの円滑な運営を図るため、広報活動の推進や国内諸機関と連絡調整を図った。

ア. プログラムパンフレットの作成・配布

- ・県民向け英語プログラムパンフレット

作成部数：4,000部/回

作成配布：4回（6月：夏学期、8月：秋学期、11月：冬学期、3月：春学期）

- ・土曜子ども英語教室パンフレットの作成・配布

作成部数：2,500部/回

作成配布：1回 <2月>

- ・国内留学プログラム

作成部数：1,000部/回

作成配布：2回<5月、11月>

イ. 英語プログラム受講者数（単位：人）

講座名	受講者数
県民向け英語講座（年4学期）	209名
うち彦根コース	144名
うち南草津コース	31名
うち栗東コース	34名
土曜こども英語教室	36名
高校英語講座（米原高校・彦根東高校・虎姫高校・滋賀短期大学附属高校・立命館守山高校）	228名

県立看護専門学校英語講座	25名
滋賀大学 TOEFL 講座（教育学部・経済学部）	35名
国内留学（2週間集中英語講座）	55名
米原市多文化共生協会英語講座	15名
教員向け英語講座（新規）	25名
企業向け英語講座（新規）（1社）	51名
合計	679名

ウ．・ニュースレターの作成・配布

発行回数：年2回（No. 56・No. 57）

発行部数：計3,500部／回

（3） ミシガン日本センターを活用した地域との交流プログラムの実施

① 主な地域交流プログラム

- ・彦根市および多賀町の児童向け行事に参加
- ・市内高校（5校）との教育活動としての交流会・文化祭に参加
- ・「しが☆まなび☆発見！」に参加（8月）
- ・滋賀経済産業協会との交流（10月）
- ・滋賀大学経済学部学生との交流（10月・12月）
- ・京都光華女子大学との交流（11月）
- ・村田製作所野洲事業所の見学・交流会（11月・1月）
- ・週末ホームステイの実施（夏学期：7月、秋学期：10月、春学期：3月）
- ・虎姫高校生徒の交流（1月）
- ・彦根東高校生徒との交流（1・2月）
- ・多賀町少年団体と交流合宿（2月）
- ・彦根市内児童との交流会（2月）

② 第3回 JCMU 留学生といっしょに親子ハイキング&オープンキャンパス

開催日：9月23日（月・祝）

場 所：JCMUおよび長浜市黒壁周辺

参加者：日本人親子23人、JCMU 留学生14人
大学生サポーター7人 合計44人

概 要：JCMU 留学生と親子一緒（中学生以下）が長浜の町をハイキングしながら、英語や日本語で異文化コミュニケーションを図る。JCMU 施設見学や子ども英語講座の体験などのオープンキャンパスも同時開催。

③ 公開講座の開催

○テーマ：「進歩するアメリカ女性-自由・独立・個性-について」（英）

講 師：中村艶子さん

同志社大学グローバル・コミュニケーション学部准教授

開催日：6月15日（土）

会 場：ミシガン州立大学連合日本センター

参加者：19人

- テーマ：「グローバル社会の英語～逐次通訳も試してみよう～」 (英)
 講師：中村艶子さん
 同志社大学グローバル・コミュニケーション学部准教授
 開催日：9月28日(土)
 会場：ピアザ淡海
 参加者：20人
- テーマ「JCMU で学んだこと」 (英・日)
 発表者：JCMU 留学生3名・英語プログラム受講者3名
 コーディネーター：ベンジャミン・マクラケン JCMU 所長
 開催日：12月7日(土)
 会場：ミシガン州立大学連合日本センター
 参加者：25人
- テーマ「伝統的な英語教育手法の充実」 (英)
 講師：ダスティ・ウィットマンさん
 滋賀県立草津東高等学校外国語補助教員 (ALT)
 開催日：3月8日(土)
 会場：ウイングプラザ栗東
 参加者：26人
- テーマ：「いろいろな経験は変化に富んだ人生をもたらす」 (英)
 講師：JCMU 英語プログラム教官3名
 JCMU 学生支援コーディネーター1名
 開催日：3月15日(土)
 会場：ミシガン州立大学連合日本センター
 参加者：25人

(参考)

○日本語・日本文化プログラム学生数 (単位：人)

- ・短期特別プログラム (5～8月) : 32 (25)
 - ・夏学期 (6～7月) : 23 (39)
 - ・秋学期 (9～12月) : 34 (39)
 - ・春学期 (1～4月) : 30 (34)
- 計：119 (137)

※ () 書きは、前年の学生数・受講者数

(4) ミシガン州友好親善使節団の受入 [自主]

受入人員 24人

受入期間 10月17日～25日

(ホームステイ10月18日～23日)

滞在姉妹都市

大津市 (ランシング市) : 6人

彦根市 (アナーバー市) : 1人

近江八幡市 (グランドラピッズ市) : 2人

守山市 (エイドリアン市) : 3人

栗東市 (バーミンハム市) : 1人

甲賀市（トラバースシティ市、マーシャル市、デウィット市）：7人
湖南省（セントジョーンズ市*友好交流）：2人
高島市（ペトスキー市）：2人

(5) 姉妹友好州省との交流 [委託] [自主]

① 姉妹友好州省等の交流団の受入

ア. リオ・グランデ・ド・スール州政府代表団の受入

受入人員 3人

受入期間 7月 5日（金）～12日（金）

イ. ミシガン州政府関係者（ミシガン州儀典長）の受入

受入期間 10月18日（金）～25日（金）

ウ. 湖南省訪問団受入

受入人員 72人

受入期間 11月18日（月）～11月20日（水）

② 滋賀県・湖南省友好提携30周年記念事業による交流の推進

滋賀県・湖南省友好提携30周年記念事業の開催に協力した。

ア. 記念式典：11月19日（火）

会場：ピアンカ船上

*国際協会関係者4名が友好交流功労者賞受賞

イ. 歓迎レセプション：11月19日（火）

会場：大津プリンスホテル（大津市）

*会員24名参加

ウ. 記念植樹：11月20日（水）

場所：近江富士花緑公園（野洲市）

3 国際協力の促進

海外技術研修員の受入 [委託]

受入人員：2人（中国湖南省 1人、ブラジル 1人）

受入期間：8月20日～12月20日（4ヶ月間）

専門技術習得：観光業務【県観光交流局】

日本料理の知識向上【唐橋河畔川魚問屋 うおい】

《 多文化共生の地域づくり 》

1 外国人住民への支援

(1) 外国人相談窓口 [補助]

県内の外国人住民等からの医療や教育など様々な相談に対して、必要な情報の提供や助言を行った。

対応言語：ポルトガル語、スペイン語

相談日時：月曜日～金曜日 10:00～17:00

相談件数：827件（前年度 827件、対前年度比100%）

相談内容：医療151件（構成比：18.3%）、教育150件（18.1%）、在留

資格 44 件 (5.4%)、生活 277 件 (33.4%)、労働 52 件 (6.3%)、住宅 15 件 (1.8%)、その他 138 件 (16.7%)

(2) 外国人相談員等研修会、連絡会議の開催 [補助]

ア. 研修会

○第 1 回研修会・連絡会議

テーマ：「法テラスの業務内容および刑事事件の法的手続きについて」

講師：法テラス滋賀法律事務所 弁護士 天野 真祐子さん

開催日：12月19日(木)

会場：コミュニティセンターやす(野洲市)

参加人数：21人

○第 2 回研修会・第 2 回連絡会議

テーマ：「外国人の労働相談について」

講師：滋賀労働局総務部企画室 労働紛争調整官 大橋 幸男さん

開催日：3月6日(木)

会場：草津市立まちづくりセンター(草津市)

参加者：16人

イ. 連絡会議

第 1 回：12月19日(木) 14人、第 2 回：3月6日(木) 11人

(3) 外国人向け情報紙「みみタロウ」の発行 [補助] [自主]

発行回数：年 6 回 (No. 99～No. 104 (偶数月発行))

発行部数：計 20,000 部/回

(内訳) 日：4,000 部、英：2,900 部、ポ：4,600 部、ス：2,800 部、

ハ：1,700 部、中：2,600 部、台：1,400 部

(4) 外国人住民サポーター養成講座の開催 [補助]

「外国にルーツを持つ子どもへの日本語指導者養成講座 Part VII」

テーマ：「『JSLカリキュラム』で創る学び～子どもたちが持てる力を発揮し、明日を拓くために～」

講師：齋藤ひろみさん

東京学芸大学日本語人文社会科学群日本語教育教室教授

開催日：8月7日(水)

会場：滋賀県教育会館(大津市)

受講者：30人

(5) 外国人住民サポート事業

○外国にルーツを持つ子どもへの教育支援

ア. 多言語での進路ガイダンスの開催 [助成] [自主]

○外国語による進路ガイダンスの開催

第 1 回 (共催：長浜市教育委員会)

開催日：6月30日(日)

会場：勤労者福祉会館「臨湖」(長浜市)

参加者：22人

第2回

開催日：7月28日（日）

会場：G-netしが男女協働参画センター（近江八幡市）

参加者：22人

第3回

開催日：10月20日（日）

会場：滋賀県立水口高校セミナーハウス（甲賀市）

参加者：18人

イ. 外国にルーツを持つ高校生への職場見学・キャリアデザイン研修

[助成] [自主]

○外国にルーツを持つ高校生へのキャリアデザイン研修

【第1回】「職業人と語る会」

開催日：7月24日（水）

会場：野洲文化ホール（野洲市）

参加者：外国にルーツを持つ高校生 40人

（県内のブラジル人学校を含む7校より）

概要：各方面で職業人として活躍されているゲスト（16職種）から高校生が相談会形式で直接話しを聞く機会を設けた。

（職種：外国人相談員、IT関係者、パティシエ、栄養士、建築士、保育士、教師、航空関係者、水処理施設トータルコンサルタント、溶接技士、ホテルマン、旅行業者、自動車関係者、助産師、語学講師、テレビ関係者）

【第2回】「職場見学&ビジネスマナー講座」

開催日：12月7日（土）

全体研修ファシリテーター：森 雄二郎さん 聖泉大学 講師

ビジネスマナー講座講師：来栖 佳子さん （株）宙^{そら} 代表取締役

参加人数：外国にルーツを持つ高校生7人

（ブラジル、中国、フィリピン、イラン等）

受入協力企業：

午前／たねや彦根美濠の舎、KIYACHO 設計事務所、環境創研（株）

午後／ホテル ポストンプラザ草津 びわ湖

（6）その他の外国人支援 [自主]

① 日本語教育の支援

ア. ○日本語指導者養成講座（共催：びわこ日本語ネットワーク）

開催日：7月15日（午前・午後の全2回）

講師：嶋田和子さん

一般財団法人 アクラス日本語教育研究所代表理事

公益社団法人 日本語教育学副会長

会場：草津市立まちづくりセンター（草津市）

参加者：67人

イ. 第10回外国人による日本語スピーチ大会 開催協力

開催日：3月16（日）

会場：アミカホール（草津市）

参加人数：約300人

滋賀県国際協会会長賞：「明日があるから」

エリザベス クリスティナさん（インドネシア）

② 県内日本語教室等の情報提供

外国人向け情報紙およびホームページで県内日本語教室や外国人相談窓口情報を提供（日本語・ポルトガル語・英語）を行った。

③ 日本語教材・ブラジル教科書・関連図書の貸出

教材蔵書数： 216冊 貸出件数：17件、延べ74冊

ブラジル教科書蔵書数：51冊、貸出件数： 1件、1冊

④ 多言語情報の提供等

外国語が通じる病院の情報提供、防災情報、多文化共生学校づくり支援サイト、多言語子育て情報サイト、生活Q&A 等で随時情報を提供した。

⑤ 災害時外国人支援

ア. 多言語非常持出袋、防災多言語資料の貸出

○多言語非常持出袋貸出

貸出件数：3件

※他、非常持出袋多言語カードを協会HPからダウンロードで使用可。

イ. 外国人向け防災啓発イベントの実施

「ええやんか！おうみ多文化交流フェスティバル 外国人向け防災啓発コーナー」を実施した。

開催日：9月15日（日）

会場：ロクハ公園（草津市）

内容：・「緊急時の心得」啓発手拭いの配布

・多言語非常持出袋、防災パンフレット、非常食の展示

・外国人向け緊急対応に関するアンケート実施

※雨天により、当初予定の起震車体験と避難所体験は中止。

参加者：110人（イベント来場者は 8,000人）

運営協力：滋賀県国際協会登録ボランティア、災害時外国人サポーター、龍谷大学NPO活動センタースタッフ学生、びわこ奨学生

ウ. 消防職員対象緊急時外国人対応に関する研修会の実施

緊急時・災害時の外国人対応について、当協会開発教材「言葉がわからない 何が起こった（震災編）」を用いたワークショップや消防英語および「やさしい日本語」についての講義を行った。いずれも会場は滋賀県消防学校（東近江市）、講師は国際協会職員および県国際交流員。

（1）滋賀県消防学校初任科研修

日程：5月9日（木）

対象：滋賀県消防職員（初任者） 51人

(2) 初級幹部職員研修

日 程：1月22日（水）

対 象：滋賀県消防職員（初級幹部） 17人

エ. 近畿ブロックでの災害時外国人支援の検討

近畿の地域国際化協会構成する「災害時の外国人支援に関するネットワーク近畿ブロック研究会」の一員として、広域連携の強化を図り、同研究会で開催する研修会や訓練の参加により災害時の広域連携マニュアルの実効性を検証し、予防対策と発災後対応（応急対策）の両面からの支援体制づくりを行った。

【研究会】3回（5/16、9/6、11/28）

【研修会】

①日 時：7月14日（日）

会 場：大阪国際交流センター（大阪市）

内 容：「やさしい日本語」による災害時の情報提供について

②日 時：11月28日（木）

*研究会とあわせて実施

会 場：ひょうご国際プラザ（神戸市）

内 容：タブレット端末を使用したビデオ通訳システムのデモンストレーション

○近畿連絡協議会多言語支援センター設置訓練

（京都府国際センターおよび城陽市国際交流協会実施）

日 時：1月26日（土） 13:00～17:00

会 場：城陽市国際交流協会

○滋賀県災害ボランティア連絡協議会（事務局；滋賀県社会福祉協議会）

ワーキンググループおよび委員として参加。

(7) 外国籍学生等への奨学金の支給 [自主]

びわこ奨学金支給事業（基金：3億円）

- ・留学生 支給額：月額20,000円 支給人員：12人（申請35人）
- ・外国籍大学生 支給額：月額20,000円 支給人員：3人（申請7人）
- ・外国籍高校生 支給額：月額5,000円 支給人員：23人（申請35人）

びわこ奨学金授与式

日 時：7月14日（日）

会 場：ピアザ淡海（大津市）

参加者：47人

2. 多文化共生によるまちづくり

(1) 防災から広げる共生のまちづくり

講師（国際協会職員）派遣 [再掲]

県内で最も外国人比率の高い湖南市の教育委員会が、外国人と一緒に震災を想定した活動を行うことで、防災計画などの検証や地域で支え合うことの重要性を体験することを目的に、市内の小中学生と保護者を対象に実施された防災キャンプにおいて、多文化共生の意識づくりを促すために「言葉がわからない体験ゲーム『何が起こった？（震災編）』」ワークショップを担当した。

「こなんっ子防災キャンプ」(主催: 湖南省教育委員会)
日 時: 10月5日(土)
参加者: 90人

(2) 多文化共生に関する情報提供やアドバイス等 [自主]

① 外国人住民支援・多文化共生に関する相談対応: 70件

② アドバイス等

- 「公立学校における帰国・外国人児童生徒に対するきめ細やかな支援事業運営連絡協議会」委員
同フォーラム ブース出展協力(10/4)
- 「外国人集住都市会議地域ブロック会議(三重・滋賀・岡山)」へのオブザーバー参加
- 「外国人集住都市会議 全体会」へのオブザーバー参加
- 長浜市多文化共生・国際化のまちづくり市民会議委員
- 滋賀県多文化共生市町ワーキング オブザーバー参加
- 日系人就労準備研修連絡会議 参加

○講師(国際協会職員)派遣

- | | | | |
|---------|---|-----|-----|
| ・ 5/31 | 滋賀県立大学国際コミュニケーション学科国際コミュニケーション論(必須)「滋賀県の多文化共生の事例について」 | 受講者 | 58人 |
| ・ 6/28 | 滋賀県立大学国際コミュニケーション学科国際コミュニケーション論(必須)
「外国語による情報発信とやさしい日本語」 | 受講者 | 58人 |
| ・ 7/8 | 滋賀県立大学人間学「多文化共生論」
(選択授業)
「国際交流協会の役割と日本語教室」 | 受講者 | 30人 |
| ・ 8/8 | 愛荘町民生委員児童委員協議会8月定例会研修
「国際理解・多文化共生について」 | 受講者 | 54人 |
| ・ 10/11 | (公社)滋賀県人権教育研究会「進路・学力保障に関する研究集会」「わたしだって 自分の夢と未来をかなえたい!」～進路ガイダンスを通して考える外国にルーツを持つ子どもたちの進路保障の手だて～ | 参加者 | 10人 |

《情報収集・提供による環境づくり》

1 情報収集・提供事業

(1) 国際交流・協力情報誌「SIA しーあ」の発行 [補助・自主]

発行回数: 年4回

92号(7月)、93号(9月)、94号(12月)、95号(3月)

発行部数: 2,500部/回

(2) メールマガジン「滋賀県国際交流ニュース」の配信 [自主]

発行回数：毎月1回
送信件数：300件/回

(3) インターネット・ホームページによる情報提供 [自主]

ア. 協会ホームページアクセス数：24,450アクセス
月平均：2,038アクセス
イ. SIA活動ブログアクセス数：4,050アクセス
○ SIA facebook (1月より開設)

(4) 国際情報サロンによる情報提供 [自主]

ア. サロン展示事業および啓発展示
「ペルー出身画家絵画展展示」、「JICAボランティア活動⁶ 祿展」
「やさしい日本語の紹介」、「SIA外国人防災啓発事業の紹介」
イ. 交流スペースの貸出 57回(日本語教室、高校生訪問研修会場等)
ウ. 国際情報サロン図書等の貸出(日本語教材、国際教育教材を除く)
・貸出：3件、4冊/本
国旗の貸出 ・貸出：17件、延べ13ヶ国(普通旗・卓上旗)

(5) 関連機関・団体との連携・協働による事業実施 ※再掲

- ・県教育委員会、市教育委員会等(進路ガイダンスの実施)
- ・滋賀県進路保障推進協議会等(職場見学・キャリアデザイン研修の実施)
- ・県教育委員会(「しが☆まなび☆発見」での体験イベント実施)
- ・(公財)びわ湖ホール(「ラフォルジュネ2013 びわ湖「キッズプログラム」の実施)
- ・JICA 関西(開発教育・国際教育研修の実施)

(6) 海外渡航の支援 [自主]

ア. 渡航相談業務 3件
イ. 写真撮影(パスポート用写真の撮影)
撮影日および時間：月曜日～金曜日 各9:00～16:30
撮影場所：パスポートセンター横写真室
利用者数：14,419人(前年度 14,643人)

《 ボランティア、民間団体の活動促進》

1 ボランティアの活動促進

(1) SIAボランティアの登録・紹介(3月31日現在)

国際交流支援	登録：57人、紹介：3件、延べ12人
ホームステイ・ホームビジット	登録：60人、紹介：4件、20家庭
通訳・翻訳	登録：125人、紹介：9件、延べ27人
登録者数合計	延べ242人(191人)

- ・ボランティアオリエンテーション：随時
- ・関西国際交流ボランティアネットワーク会議(KIV-NET)への参加

(2) 災害時外国人サポーター登録制度

①災害時外国人サポーターの登録状況：53名

②災害時外国人支援の講座・研修へ参加コーディネート 参加 延べ7人

・おうみ多文化交流フェスティバル防災啓発コーナーへのイベント運営協力
[再掲]

開催日：9月15日（日）

会場：ロクハ公園（草津市）

ボランティア協力者：8人

③災害時外国人支援・対応スキルアップ研修

講師：清水 由美子さん（公財）柏崎地域国際化協会 事務局長

開催日：1月18日（土）

会場：滋賀県立男女共同参画センター G-net しが（近江八幡市）

共催：近畿地域国際化協会連絡協議会

参加人数：24人

(3) ボランティア情報の発信

メーリングリストによる情報提供：33件

ボランティア相談対応：39件

2 民間団体の活動促進

(1) 滋賀県国際交流推進協議会の運営支援 [自主]

参加団体：67団体（地域協会部会 16団体、団体部会 51団体）

ア. 全体会議・部会会議

開催日：6月12日（水）

会場：ピアザ淡海（大津市）

参加者：40人（全体会議）、40人（地域協会部会・団体部会会議）

イ. 団体部会研修会

開催日：7月10日（水）

会場：びわこ放送株式会社（大津市）

参加者：21人

概要：県政放送「Inter Shiga」見学とスタッフとの意見交換

ウ. 地域協会部会研修会

開催日：11月7日（木）

会場：コミュニティセンターやす・野洲市国際協会事務局（野洲市）

参加者：30人

概要：野洲市国際協会事業紹介、意見交換等

エ. 全体訪問研修会

研修先：外国人集住都市会議ながはま2013（長浜市）

開催日：10月29日（火）

参加者：31人

オ. 運営委員会

開催回数：2回

開催日：4月25日（木）、3月19日（水）

(2) 国際交流推進セミナーの開催 [自主]

開催日：6月12日(水)

会場：ピアザ淡海(天津市)

参加者：48人

講演：「グローバル人材が生まれる地域づくり」

～国際協力と多文化共生の視点～

講師：羽賀 友信さん

長岡市国際交流センター「地球広場」センター長

(3) 民間活動団体等への支援 [自主]

「おうみ多文化交流フェスティバル実行委員会」や「しが外国籍住民支援ネットワーク」の構成団体として運営委員への参画などを通じて活動を支援している。

- ・その他、後援事業数 16件、協力事業数 1件
- ・その他、県内の関連団体等からの相談に随時対応。

(4) 助成金の支給 [自主]

外国人児童生徒就学・学習支援事業

交付団体：3団体

活動内容：外国人児童生徒を対象とした日本語指導、学習支援、居場所づくり

交付額：166,138円

団体名	交付額	活動地域
NPO 法人長浜市民国際交流協会	100,000円	長浜市
ワールド・アミーゴクラブ	56,104円	近江八幡市
教育支援グループ「日和」	10,034円	大津市

3 JICA国際協力推進員の活動

独立行政法人国際協力機構関西国際センターから駐在(1人)

国際協力に対する県民の理解促進と支持の拡大および国際協力活動への参加促進を目的に活動した。

《 協会の基盤整備 》

会員向け事業やサービスの充実を図るとともに、講演会やワークショップ開催時など様々な機会を捉えて積極的な会員勧誘を行った。

来所者や国際情報サロン利用者に対して事業の案内を行い、会員確保に向けて継続的な啓発を行った。

* 税額控除証明書を2012年11月29日に取得

(個人からの寄付《会費も含む》について、税額控除される法人として認められた。)

会員数

個人会員：393人(一般389人、学生4人) (前年度末：393人)

団体会員：93団体 (前年度末：94団体)

計 486会員 (前年度末：487会員)